

教授挨拶

東北大学病院循環器内科 教授 安田 聡



平素より大変御世話になりありがとうございます。4月から東北大学循環器内科でも新入医局員を迎え2025年の新体制がスタートしました。今年度も「**虚血グループ**」「**不整脈グループ**」「**心不全グループ**」「**肺循環グループ**」の4診療グループが薬物療法、カテーテル治療、医療器械を用いたデバイス治療、移植治療を行っています。東北大学病院では、これらの専門チームが横断的に連携し、急性期から慢性期、多疾患罹患例（慢性腎臓病、呼吸器・脳血管障害等）に対して包括的診療を行っていることが特徴です。当科では直接お電話をいただき対応するホットラインも運用しておりますので、お困りの症例がございましたら是非当科にご相談ください。緊急対応、外来設定等柔軟に設定するようにいたします。**5月からは新たに最先端の血管撮影装置も稼働**します。2025年3月横浜市内で開催された日本循環器学会において『**心不全診療ガイドライン**』**2025年改訂版**が発表されました。アプリ版もリリースされています。心不全の原疾患となる心筋症のうち、特に治療の進歩がみられる肥大型心筋症、心アミロイドーシス、心臓サルコイドーシスに関する

最新の知見が組み込まれています。またこのガイドラインでは“予防・先制医療”、“地域医療”の重要性にも言及されています。当科では「**先制循環器医療学寄附講座**」（2022年4月開講）・「**心不全地域医療連携寄附講座**」（2023年4月開講）これら2つの寄付講座を継続し新たな挑戦・研究開発を進めてまいります。「**宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター**」では「相談窓口」も開設し3年になります。患者支援でお困りことがありましたら是非ご活用ください。本年度も東北大学循環器内科をどうぞよろしくお願いいたします。



外来患者紹介のお願い

HEARTをご覧の先生方、いつも症例のご紹介を頂きまして誠に有難うございます。緊急性のある症例、精査加療の必要な症例はもちろん、治療適応に迷われる症例のご相談を含めい

でもお気軽にご紹介ください。具体的には、下記のような症例、目的のご紹介をぜひお願い申し上げます。患者さん一人一人を丁寧に診察させて頂き診療に当たらせて頂きます。

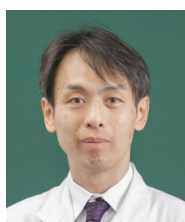
（文責：矢尾板信裕 病院講師・肺循環G主任）

- 高血圧、糖尿病など心臓病リスクを有する症例のスクリーニング
- 胸痛や動悸の有症候例、心雑音、心電図異常、BNPやNT-pro BNP高値例の精査目的（目安：BNP $\geq$ 100pg/ml, NT-pro BNP $\geq$ 400pg/ml）
- 冠動脈疾患、弁膜症、心房細動、期外収縮、心不全、脳梗塞既往、透析症例などの心精査
- 膠原病、肝硬変、間質性肺炎を有する労作時息切れの精査目的
- 原因不明の安静時低酸素血症(SpO₂<95%)の精査目的

お急ぎの症例のご連絡、あるいは直接当科医師とのお話が必要な内容であれば、本紙面下部に記載の「**循環器内科急患ホットライン 080-2801-1810**」にご連絡ください。何卒よろしくお願い申し上げます。

医局長挨拶

東北大学病院循環器内科 医局長 中野 誠



2025年4月より医局長を務めさせていただきます、中野 誠でございます。安田教授ご指導の下、円滑な医局運営ができるよう頑張りたいと思います。HEARTを御覧の先生方におかれましては、症例のご紹介、逆

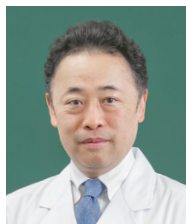
紹介や外勤などの臨床面、あるいは多施設共同研究などの研究面ともに今後ともご連携、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。医局へのご助言、ご意見等ございましたらいつでもご連絡をお願い申し上げます。

循環器内科 急患ホットライン 080-2801-1810 (常時受付)

患者さんのご紹介・ご相談は：☎ 022-717-7153（医局） / 7156（FAX） / 7728（外来） / 7786（病棟）
 本誌「HEART」へのご意見・ご質問は：✉ kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp

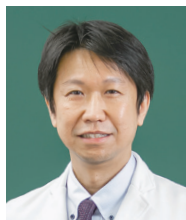
当科HP URL： <https://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/> 公式 X（旧 Twitter）： https://x.com/cardio_tu

各診療グループ長挨拶



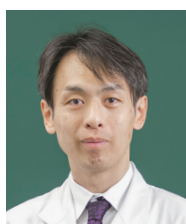
虚血 G 主任 高橋 潤（准教授）

当グループでは“安全で質の高い医療を提供する”を目標としています。急性冠症候群には 24 時間対応しますのでハートホットライン（080-2801-1810）にお電話ください。冠攣縮性狭心症を含めた慢性冠症候群には心臓カテーテルによる包括的冠動脈機能評価を行い胸痛の原因を明らかにします。また、大動脈弁狭窄症に対する TAVI、僧帽弁逆流に対する MitraClip、ASD や PFO に対する閉鎖栓など、構造的な疾患に対する経カテーテル治療も精力的に行っています。虚血性心疾患や弁膜症に伴う心不全が疑われる患者さんをぜひご紹介ください。



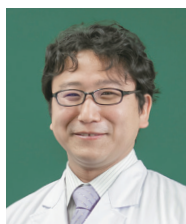
心不全 G 主任 高濱 博幸（講師）

心不全グループでは心不全の原因精査（基礎心疾患精査）を行い治療選択肢のある心筋症（心アミロイドーシス、サルコイドーシスや Fabry 病）の積極的な治療に取り組んでおります。また心臓血管外科や他科・当科内の他診療グループと緊密な連携をとりつつ、心臓移植医療や重症心不全患者に対しての治療に取り組んでおります。該当する患者様がいらっしゃいましたら、早めのご紹介をご検討頂けると幸いです。引き続き心不全患者の包括的診療に取り組んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。



不整脈 G 主任・医局長 中野 誠（講師）

カテーテルアブレーションにつきましては上室性から心室性まであらゆる頻脈性不整脈に対応しております。心房細動アブレーションにおいては、安全性の高さで知られておりますパルスフィールドアブレーションを導入しております。デバイス治療につきましては、リードや本体によるトラブルが軽減されるリードレスペースメーカー、完全皮下システムである皮下植込み型除細動器 (S-ICD) などの特徴的デバイスはもとより、従来通りのペースメーカー、植込み型除細動器 (ICD)、両心室ペーシング (CRT)、失神精査などで用いる植込み型心電計 (ILR) など、幅広く対応しております。ぜひお気軽にご相談ください。

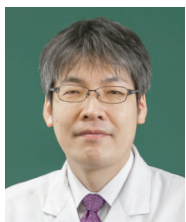


肺循環 G 主任・外来医長 矢尾板信裕（病院講師）

当グループは肺高血圧診療と成人先天性心疾患に重きをおいて診療しております。当グループでは様々な経験とデータを蓄積し、最先端の治療、研究を行ってまいりました。特に肺高血圧症は積極的に治験にも多数参加し、難治性疾患の患者さんにも新たな治療選択肢を提供しております。これらの疾患は早期加療が必須ですので、疑われましたらすぐにご紹介頂ければ幸いです。また、先天性心疾患に関しても小児科からの移行症例を積極的に受け入れ診療にあたっております。特殊な疾患ですが、診療方針が難しい場合は勿論、軽症の患者さんも積極的にご紹介いただければ幸いです。

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター報告

白戸 崇（特任准教授）



令和 4 年 7 月に開設した宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センターですが、2024 年度は脳卒中・心臓病相談窓口で 959 件の相談支援を行いました（うち、心臓病 860 件）。図に示すように年々件数は増加しておりますが、内訳は病棟と窓口が多く院外からの利用者が少ないのが現状です。また、2024

年度に実施した宮城県内の地域包括支援センターを対象としたアンケート調査でも 9 割以上が相談窓口を知らないと回答しており、地域の支援者におけるセンター認知度向上も課題です。当センターでは、循環器病患者の包括的な患者支援を行うため、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーをはじめ多職種で協働して対応しております。広報活動として、センターのリーフレットの配布、地域の支援者との意見交換を目的とした「東北大学病院オープンカンファレンス」の開催などの取組を行っておりますが、関連病院や地域のクリニックで相談支援が必要な方がいらっしやいましたら是非ご紹介ください。その他センターの活動につきましては、病院ホームページをご参照いただければ幸いです。

参 考

東北大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターホームページ
<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/departments/d3337/>

相談支援の内訳と年間件数

